

## 第 77 回デジタルマンモグラフィソフトコピー診断講習会 受講報告

H26 年 3 月 1 日土曜日、名古屋で開催された上記講習会を受講しましたので、報告をさせていただきます。

受講理由としては、当院のマンモグラフィ装置が最新のものに更新されるに伴い、完全フィルムレス、モニタ診断に移行するため、その読影方法について勉強しておかねばと思ったからです。

講習会は朝 9 時～夕方 17 時までで、午前中は講義、午後はモニタ読影実習となっています。参加者は 26 名で、外科、放射線科がメインで外科の先生の方がやや多かったです。ベテラン風の先生も多いような印象でした。

まず午前の講義でモニタ診断の基礎やデジタル画像の構成・特性、モニタの特性、CAD などについて教えていただきました。普段あまり自発的には勉強しないような内容でしたので、この機会に教えていただけてよかったです。特に、撮影装置がよくなり高精細の画像が得られるようになったが、モニタの規格が限られているので、読影に工夫・訓練が必要で、読影時間もフィルム診断に比べると時間を要するということがよく分かりました。自施設の撮影装置、モニタのことをよく知っておくことも大切だと分かりました。

午後からは実際にモニタの前に座って読影実習を行いました。3 社のモニタを使用することができましたが、当院に入る GE、パナソニックのモニタもあったので、今後の読影のシュミレーションができてよかった。

名古屋は出雲からの交通の便が悪く、行くのが大変でしたが、とても収穫があり、苦労して行ってよかったと思いました。3 月末には新装置での検査、読影が始まりますので、早速学んだことを生かしたいと思います。 (山本)



モニタ読影実習の様子